



建学の精神は「感動の教育」。燃えよ、価値あるものに!がモットー 文化学園大学杉並高等学校



高校紹介の第3回は、文大杉並高の松谷茂(まつたに・しげる)校長先生からお話を伺いました。

★概要

大正15年、JR中央線の荻窪と阿佐ヶ谷の中程にある地に設立された城右高等女学校は、昭和49年に文化女子大学の附属杉並高等学校となり、平成23年に現在の校名「文化学園大学杉並高等学校」に変更しました。長く女子校でしたが、4年前の平成30年に男女共学となり、令和3年度の生徒数は男子298、女子633の計931人です。「感動」を大切に、「価値あるものに燃える3年間に!」と、感動体験を通して物事の本質をしっかりと思考し、自分なりの考えを持つことを目指しています。

★文大杉並高校の特色

文大杉並高で一番の特色は、日本とカナダの両方の高校卒業資格を取得できる「ダブルディプロマコース」で、ハイレベルな英語の活用力を磨くことが可能なことです。このコースは平成27年に日本で初めて開設されました。ダブルディプロマコースは、カナダ・ブリティッシュコロンビア州の教育で、世界50カ所ほどに海外校があり、文大杉並もその一つです。生徒はカナダと日本の両方のカリキュラムの授業を受け、卒業生は英検1級が準1級の実力を身に付けており、何名かはカナダやアメリカ、ヨーロッパの大学に進学しています。



ダブルディプロマコースの卒業式

ほか「特進コース」と「進学コース」があります。特進コースは難関大学受験に対応した5教科7科目を学び、春や夏の長期休暇中には「合宿勉強会」を開き、受験生の土台作りをしています。進学コースは、多様な進路に対応したカリキュラムで、生徒の夢や希望の実現を目指しています。系列の文化学園大学を希望すれば推薦入試で入ることができます。文化学園はファッションでは日本一、世界で2位のお墨付きをもらい、ファッション界をリードしてきたコシノジュンコさんや、故高田賢三さんらが卒業生です。文

大杉並高からは生徒全体の15%ほどが進学しています。

★コロナ禍での活動

生徒全員がタブレットを持っており、コロナ禍で登校できない場合には全部の授業をオンラインで実施してきたそうです。クラブ活動もコロナ禍で制約を受けていますが、運動系ではソフトテニス、卓球、バスケットボールなどが全国大会に出場し活躍しています。

文化系では、放課後にロボットを作ったり、農家と一緒に頑張って勉強することや、企業ともコラボしてプログラミングを発表するなど、芸術分野も融合させた「STEAM(科学・技術・工学・芸術・教養・数学)教育」で教科の枠を超えた課題解決学習に取り組んでいます。



STEAM活動も盛ん



ファッションショー

★松谷校長の思い

松谷校長は、「自分で物事を考えて、判断し行動できる人間を創りたい」との強い思いを持っています。社会がどんな状況でも、高い目標を立て、挫折してもそれを乗り越えて頑張る力や、仲間を大切にして取り組む力を育てることに力を入れているそうです。スーパー生徒ではなくても、コツコツと真面目にしっかり取り組む生徒を大切にしながら、しっかりと育てていくよう心掛けておられます。

文化学園大学杉並高等学校

住所:〒166-0004 杉並区阿佐谷南3-48-16 電話:03-3392-6636
ホームページ: <https://bunsugi.jp>

講座紹介 野外講座 武蔵野の面影を探して

「武蔵野はめまぐるしく変貌する。それだけにまた、古い武蔵野の面影を伝えるものは、よけい心ひかれる」と、天沼に住んだ作家・上林暁は書いています。その面影を探して、天沼、清水を歩きます。

- ★日時:5月14日(土)午前10時~12時 ★定員:15名
- ★講師:松井和男(「荻窪の記憶」プロジェクト)
- ★予定コース:天沼八幡、弁天池公園、碧雲荘跡、清水の井戸、屋敷林のある農家、清水の森公園、長屋門、庚申塔、妙正寺、妙正寺公園など
- ★集合場所:荻窪駅北口広場(通称:荻の広場)
- ★応募締切:5月1日(日)必着



清水の農家

※参加を希望される方はP4の講座などのご案内を読んでお申し込みください。

「荻窪の記憶」

こぼればなし

1万2千年の旅

清水・桃井・今川の歴史を扱った「荻窪の記憶IV」展では、近世にまで遡って原野の開拓にはじまる歴史に光を当てました。では、そもそも、荻窪地域に人が住み始めたのは、いったい、いつ頃のことだったのでしょうか。灯台下暗し、答えは当センターの足元にあります。センターの建設に伴う発掘調査で大量の石器が発見され、「川南遺跡」と名づけられた遺跡は今から約1万2千年前の旧石器時代のもので判ったからです。また、大正末の土地区画整理の際、荻窪に住む考古学者が縄文時代の竪穴住居跡や大量の土器を発見したことは、パネル展や冊子でも紹介したとおりです。

このように、荻窪地域には、早くから人が住んでいたわけですが、それには善福寺川の恩恵がありました。文化人類学者の中沢新一は、「(神田川や善福寺川は)いまよりずっと立派な川で、その川岸にはいくつもの人間の住む村がつくられていた『アースダイバー』」と書いています。おそらく、毎年、東京湾から大量のサケも上ってきたことでしょう。水と豊富な食料を求めて人間が集まり、集落が生れていたのです。

時代が下ると、善福寺川の流域には、川の水を引いた水田が拓かれます。なかでも、荻外荘の南に広がっていた田端田んぼは、隣接する成宗田んぼとともに、杉並区でもっとも広い田んぼでした。その田んぼを見下ろす高台にある田端神社は、田の端にあることからその名がついたといわれ、創建は室町時代とされていますから、当時、すでに水田が拓かれていたものと思われます。

のちに「荻外荘」となる屋敷を善福寺川の左岸に建てた入澤達吉は、「家の中から居ながらにして田植えも見える」と、田ん

ぼの景観を愛し、開発から守るため水田を購入し、小作に出していました。また、角川書店の創業者・角川源義も、田んぼが一望できることから荻外荘に連なる高台に邸宅(幻戯山房)を建てましたが、せっかくの眺望を楽しむことはほとんどできませんでした。

田端田んぼを埋めて、6.3ヘクタールに及ぶ広大な「荻窪団地」を建設する工事ははじまったからです。埋め立てに使う土は、折から建設が進められていた地下鉄丸の内線の工事が出た土。その土を運ぶ大型トラックが荻窪の町をひっきりなしに通ったといえます。総戸数411戸の団地は、昭和33年に完成。「当時、最先端の高級賃貸住宅として人気を集めた」といいます。しかし、わずか半世紀後、団地は早くも老朽を晒したのち取り壊され、敷地の半分はスマートな「シャレール荻窪」になり、残りはマンションになっています。

「神田川や善福寺川は、不思議ともとの流れの位置の記憶を保存し続けてきた(同上)」と中沢新一はいいいます。コンクリートの床を流れる川は、1万2千年にわたる人間とのつき合いをどのように振り返るのでしょうか。

「荻窪の記憶」プロジェクト 松井和男



開催報告 「天才・手塚治虫との対話から」

日時:1月22日(土)開催 講師:加藤丈夫

阪大医学生だった手塚治虫を東京で「ジャングル大帝」にてプロ漫画家デビューさせた講師の父・加藤謙一氏と手塚氏との交流。教師だった謙一氏は若くして講談社に転職。入って間もなく少年倶楽部編集長に抜擢される。その加藤編集長が学生の手塚治虫を抜擢する。作品講評を巻紙手紙にて毎日送って叱咤激励。超・売れっ子になった手塚氏に「漫画を書きなぐって子供を裏切るような事はしないように」と忠告した事も。天才には良き理解者がいて支えているとのエピソード満載でした。



開催報告 「正しく学ぼう! ラジオ体操」

日時:2月4日・11日(土)開催 講師:鉾立和子

軽快なリズムに合わせて身体全体をバランス良く動かし、意外にちゃんと覚えていないラジオ体操第1・2を姿勢、呼吸、目線の基礎から正しく学びました。「決して無理はしないこと。」そして「この講座を終わっても継続されること。」を熱心に指導されました。応募者全員が参加、それぞれチェックも受けていました。



講座などのご案内

※スケジュールが変更になった場合はホームページなどでお知らせします。

講座名	内容・講師	開催日・時間	定員	参加費	申込締切
野外講座 「武蔵野の面影を探して」	武蔵野の面影を探して、天沼、清水を歩きます。(詳細はP2講座紹介参照) 集合場所:荻窪駅北口広場(通称:荻の広場)	5月14日(土) 午前10時~12時	15名	200円	5月1日(日)
読書会 最高の短編小説を読む	新潮クレストブックから毎回2編の短編小説を読み意見を交わします。 講師:生田美秋(富山県立高志の国文学館事業部長)	5月18日・25日・6月8日・15日 各水曜日(4回) 午後1時30分~3時30分	20名	300円	5月8日(日)
季節の草花の寄せ植え (洋風)	お洒落なピンク色のプリキ鉢(6号鉢)に季節の草花(5株程度)を寄せ植えします。 講師:吉野華恵(グリーンアドバイザー)	5月28日(土) 午後1時30分~3時	12名	2,000円 (材料費込み)	5月15日(日)
リズム&ストレッチ教室	音楽に合わせて全身を使って、ウォーキングなどの軽い運動やストレッチを行います。 講師:後藤鈴香(健康運動指導士)	6月8日・15日・22日・29日 各水曜日(4回) 午後1時30分~3時30分	20名	200円	5月29日(日)

【講座の申込方法】 4月から往復はがきに加え、荻窪地域区民センター協議会ホームページ(<https://ogikubokuyougikai.sakura.ne.jp/>)から申込できます。
◆往復はがきの場合(1人1枚) ①希望講座名 ②住所 ③氏名(フリガナ) ④年齢 ⑤電話番号を明記のうえ、荻窪地域区民センター協議会(〒167-0051 荻窪2-34-20)宛 申込みください。
◆ホームページの場合(1人1件)受講を希望する講座にアクセスし、フォーマットに沿って必要事項を入力し、Webメールで申込ください。(往復はがきでの申込、ホームページでの申込とも応募者多数の場合は抽選です)

イベント紹介

子どもも大人もみんな来てね!!

第44回 おぎくぼセンター祭

楽しい一日を
過ごしましょう!

★日時:6月5日(日) 午前10時~午後4時 ★会場:荻窪地域区民センター



舞台

模擬店・販売

体験・展示

苗木配布
「苗木で募金」にご協力をお願いします。

※新型コロナウイルス感染症対策などにより掲載内容を変更する場合があります。

郷土博物館分館 区民参加型展示

問い合わせ: ☎5347-9801

西棟1階展示室

杉並における住宅開発 ~同潤会・公団住宅から民間開発へ~

杉並区が良好な住宅地になっていった原点の一つと考える同潤会から日本住宅公団、民間の住宅開発まで、杉並の住宅地の発展に関する歴史を紹介する。

【展示期間】令和4年3月5日(土)~5月8日(日)

- 場 所:杉並区立郷土博物館分館(杉並区天沼3-23-1 天沼弁天池公園内)
- 開館時間:午前9時~午後5時
- 休 館 日:毎週月曜日と第3木曜日(祝日の場合は開館も、翌日休館)
- 観 覧 料:無料

これからのスケジュール

- 5月14日(土) 野外講座 荻窪駅北口広場集合
「武蔵野の面影を探して」講師:松井和男
 - 5月18日・25日・6月8日・15日(水) 読書会
「最高の短編小説を読む」講師:生田美秋
 - 5月28日(土) 季節の草花の寄せ植え(洋風)
講師:吉野華恵
 - 5月31日(火) 広報紙「わたしのおぎくぼ」
No.357 6月7日(土)発行
 - 6月5日(日) 「おぎくぼセンター祭」
No.358 8月6日(日)発行
 - 6月8日・15日・22日・29日(水) リズム&ストレッチ「講師:後藤鈴香」
- ※「おぎくぼ」のスケジュールが流動的です。H.P.でご確認ください。
※イベント開催場所は変更になる場合があります。
※会場が明記されていないものは全て会場は荻窪地域区民センターです。
※問い合わせ先: ●事業企画部 ●地域交流部 ●広報部 ●総務部

4

26日(火) 定期総会

荻窪地域区民センター協議会からのお知らせ

定期総会の 日程

4月26日(火) 午前10時~11時 会場:第1・2集会室
課題:令和3年度事業決算報告
令和4年度事業計画案と予算案
その他の事項

委員会の 日程

4月26日(火) 午後1時~ 会場:第1・2集会室
5月31日(火) 午後1時~ 会場:第1・2集会室
※委員会は一般公開です。傍聴を希望される方は事務局までお申し込みください。

広報紙

3/15 発行

資料6-1

2022
4月・5月

No.356

3月15日発行

わたしのおぎくぼ

発行:荻窪地域区民センター協議会 〒167-0051 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9127 FAX 3398-9128
ホームページ <https://ogikubokuyougikai.sakura.ne.jp/>
荻窪地域区民センター 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9125 【休館日】第2・4月曜日と20日・12/28~1/4
本天沼区民集会所 杉並区本天沼2-12-10 ☎5310-4633 【休館日】第1・3月曜日・12/28~1/4

新年度の活動に向けて

荻窪地域区民センター協議会 会長 茂木愛一郎

2021年度は新型コロナウイルス感染症拡大の波に襲われ、いくつもの準備したイベントの中止・延期を余儀なくされました。それでもコロナの波の間に「マルシェ in 荻窪地域区民センター」を実施したり、安全対策をとりながら講座・講演を開催、「荻窪の記憶IV 清水・桃井・今川の歴史」の調査・分冊の発行とパネル展示を行うことができました。新年度は、「おぎくぼセンター祭」、「本天沼集会所まつり」、「さいえんす緑日」などのイベントをこどもとファミリー向けに企画するとともに、工夫を凝らした講座や講演を計画します。持続可能な社会が求められる今日、地域にあって「共」に繋がるコモンズをもつことが非常に重要になってきているのではないのでしょうか。各種団体との連携や地域の魅力を引き出すプロジェクトを実施し、協議会はそういったコモンズの核になりたいと考えております。地域のみなさまのご支援をよろしくお願いいたします。



2022年度に予定する荻窪地域区民センター協議会の活動(例)

※写真は過去の事例です。※直近のスケジュールはP4をご覧ください。

地域交流部



おぎくぼセンター祭



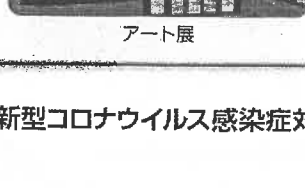
さまざまな教育講座



さまざまな健康講座



荻窪音楽祭/地域ふれあいコンサート



アート展

事業企画部



さまざまな教育講座



さまざまな健康講座



演芸鑑賞(落語・曲芸、講談)



科学あそび「さいえんす緑日」

総務部



定期総会



地域懇談会



地域交流会「こみゆに亭カフェ」



地域清掃 クリーン大作戦

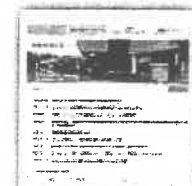
広報部



広報紙「わたしのおぎくぼ」



活動報告書(隔年発行)



ホームページ

※新型コロナウイルス感染症対策に伴い、スケジュールが流動的です。開催予定は当協議会ホームページでご確認ください。